

平成18年度「魅力ある大学院教育」イニシアティブ 教育プログラム及び審査結果の概要

◇「1.申請分野(系)」～「6.履修プロセスの概念図」:大学からの計画調書(平成18年4月現在)を抜粋

機 関 名	横浜市立大学	整理番号	f008
1. 申請分野(系)	医療系		
2. 教育プログラムの名称	臨床治験推進リーダー養成プログラム		
3. 関連研究分野(分科) (細目・キーワード)	主なものを左から順番に記入(3つ以内) 薬学・情報学・内科系臨床医学		
	主なものを左から順番に記入(5つ以内) (化学系薬学・生物系薬学・創薬科学・医療系薬学・物理系薬学)		
4. 研究科・専攻名 及び研究科長名 ([]書きで課程区分を記入、 複数の専攻で申請する場合は、 全ての研究科・専攻を記入)	(主たる研究科・専攻名) 医学研究科 生命分子情報医科学専攻 [博士課程]	研究科長(取組代表者)の氏名 大野 茂男	
	(その他関連する研究科・専攻名) 医学研究科 生体システム医科学専攻 [博士課程] 生体機能医科学専攻 [博士課程]		
5. 本事業の全体像(わかりやすく、具体的に記入してください。)			
5-(1) 本事業の大学全体としての位置付け(教育研究活動の充実を図るための支援・措置について)			
<p>本学は昨年より独立法人化組織への移行にともない医学科および看護学科よりなる医学部と総合科学部との2学部からなる総合大学としてスタートした。医学科は医学修士課程および博士課程からなり、平成19年度より開始予定の高度職業人養成コースとしてのモデルコース案を策定するとともに、本学医学研究科における21世紀COEプログラムを通じて学生支援、競争的評価システムの導入などを施行し、先端研究を担う研究者育成プログラムを充実しつつある。一方、本学との連携を強化しつつある横浜理化学研究所、ゲノム科学総合センターならびに横浜国立大学との協力関係にもとづき、トランスレーショナルリサーチを中心とした先端医科学研究センター構想が立ち上がりその計画が具体化しつつある。こうした状況にあり、従来より国際的競争力の乏しい日本の臨床研究の弱点を克服し、日本国内における臨床試験、新薬開発・評価を医師主導のもとに行う体制を整備することは急務である。本事業の大学全体の位置づけは、こうした課題に取り組む中で大学院博士課程における大学院生を対象に広く臨床研究を展開するリーダーを育成することにある。</p>			

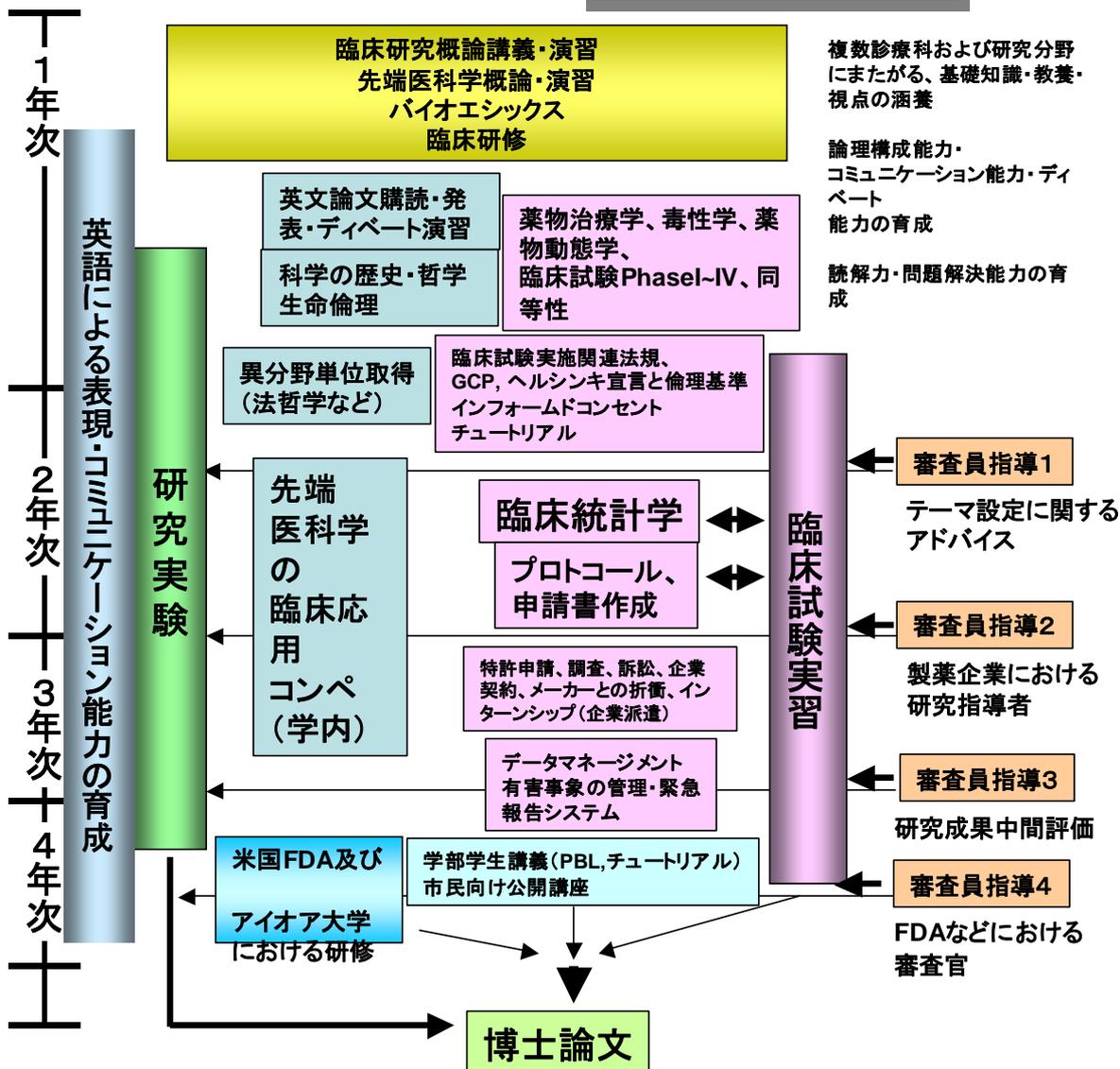
機 関 名	横浜市立大学	整理番号	f008
<p>5-(2) これまでの教育研究活動の状況(これまでの改善点と、今後の課題について)</p> <p>平成10年、全国的にも比較的早期に開設された本学の医学修士課程は従前より数多くの学生入学者数を保持し、本学および他大学への博士課程進学をはじめ多くの製薬、食品、医療情報関係の多くの専門職業人を輩出してきた。平成19年度および20年度より、より幅広い知的社会基盤の担い手を育成することを目指して、21世紀COEプログラムの施行によりさらに充実しつつある従来の研究者育成にくわえ、高度職業人育成プログラムを整備し、本学国際総合科学部、横浜国立大学、横浜理化学研究所などとの連携を背景に、その施行へ向け具体的なコース設定とその内容、講師陣容などが整えられつつある。また本学は平成11年1月に発生した「患者取り違え事故」を契機に医療安全管理教育が徹底されてきており、全国的にもリーダー的存在にある。一方、従来の大学院修士課程および博士課程を通じての課題としてより横断的な指導の必要性が指摘されており、この問題点の解決にむけて大学院指導体制の見直しが始められつつある。さらに大学と地域、大学と産業界との連携を強化し大学が人材育成とそれを通じての社会貢献という旧来の関係のみではなく、大学院教育の担い手として大学と産業界との連携・協力体制を構築し、大学を中心として専門性と幅広い知識・教養教育を行うことの課題とその重要性が指摘されている。</p>			
<p>5-(3) 魅力ある大学院教育への取組・計画(5-(2)を踏まえた大学院教育の実質化(教育の課程の組織的展開の強化)のための具体的な教育取組、発展的展開のための計画、及びこの取組によって改善が期待される点について)</p> <p>こうした現在までの取り組みを踏まえ、本プログラムでは、医療とそれを支える医学に対する2つの大きな社会的要請、すなわち国内における臨床試験体制の整備と臨床治療学の水準の引き上げにもとづく、安心して安全な治療体制の充実とにこたえるための臨床研究ならびに臨床試験のリーダーを育成する。本事業においてはそのための組織的な個別指導体制の確立、すでに連携協定が結ばれる運びとなった米国 FDA (food and drug administration) や、現在協定へ向け準備しつつある日本の医師免許により医療行為が可能なアイオワ大学との連携協定、あるいは今後ヨーロッパ諸国との連携バランスを視点に、国際的なハーモナイゼーションやコクラン計画についても配慮しつつ、これらとの関係を背景とした国際研究教育システムを導入するとともに、自己評価点検委員会を通じて本学における教育目標達成のためのプロセス管理を徹底する。</p>			

6. 履修プロセスの概念図(履修指導及び研究指導のプロセスについて全体像と特徴がわかるように図示してください。)

国際的臨床試験の リーダー育成プログラム

先端医科学研究コース

臨床試験エキスパート
コース



<審査結果の概要及び採択理由>

「魅力ある大学院教育」イニシアティブは、現代社会の新たなニーズに応えられる創造性豊かな若手研究者の養成機能の強化を図るため、大学院における意欲的かつ独創的な研究者養成に関する教育取組に対し重点的な支援を行うことにより、大学院教育の実質化(教育の課程の組織的な展開の強化)を推進することを目的としています。

本事業の趣旨に照らし、

①大学院教育の実質化のための具体的な教育取組の方策が確立又は今後展開されることが期待できるものとなっているか

②意欲的・独創的な教育プログラムへの発展的展開のための計画となっているか

の2つの視点に基づき審査を行った結果、当該教育プログラムに係る所見は、大学院教育の実質化のための各項目の方策が、優れており、期待できるとともに、教育プログラムが事業の趣旨に適合しており、その実現性、一定の成果と今後の展開の面も期待できると判断され、採択となりました。

なお、特に優れた点、改善を要する点等については、以下の点があげられます。

[特に優れた点、改善を要する点等]

- ・国際的レベルの臨床治験リーダーを育成する教育プログラムは、わが国において望まれているものであり、現時点では困難な条件下にあるが、今後の社会の進展を考えるならば、本教育プログラムの目指すところの実現性は高いと思われる。修士から博士への一貫した大学院教育の実質化に向けての仕組みも良く練られており、また、大学全体としての位置付けと継続性確保も明瞭であり、実績に基づいた特色ある大学院教育プログラムである。
- ・ただし、大学院教育プログラムとの連携に特化したFD(教育内容・方法等の組織的な研究・研修)については検討中とのことであるが、早急な整備が望まれる。